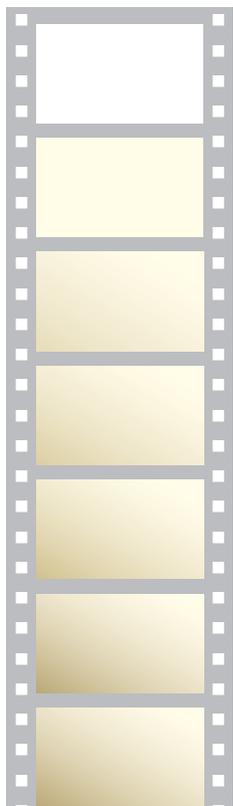
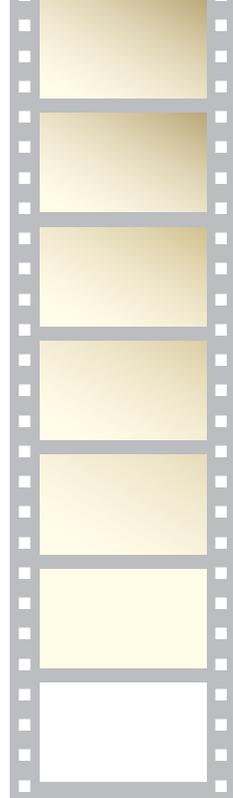


伸^ノさんのシネマトーク

鈴木 伸夫



第五十回 「ぼくのテーマミュージック」②

前回、レコードジャケットをご覧いただいたので、ぼくと同じ年代の人は頭の中にメロデーが浮かんでくるかと思えます。今回はほかのテーマ曲の簡単な解説を記し、次回、ぼくの好きな音楽（テーマミュージック）の話をします。

※映画「荒野の用心棒」から「さすらいの口笛」

（64年製作・イタリア映画、監督 セルジオ・レオーネ、出演 クリント・イー

ストウツド、リアンネ・コッホほか。音楽 エンニオ・モリコーネ）

当時、監督のセルジオ・レオーネは「ボブ・ロバートソン」と名のり、また、エンニオ・モリコーネは「ドン・サヴィオ」、「レオ・ニコルズ」と名のっていました。

「それはなぜか？」答はのちほど…。（203ページ）

※映画「最後の楽園」から「パペーテの夜明け」

(57年製作・イタリア映画、監督 フォルコ・クイリケ。音楽 フランチェスコ・ラヴァニーノ)

ぼくは口笛のメロディーの曲が好きなのですが、この曲は、口笛のデュエットをしている珍しい曲です。

※「バ・ラの乙女」

(作曲 ロバート・マックスウェル、演奏 フォーチュン・テラーズ)

※「ナ・イ・ロ・ビ・トリオの唄」

(作曲 ロバート・マックスウェル、演奏 フォーチュン・テラーズ)

「ナイロビ」はコミック調、「バラの乙女」は正調派の曲です。

※映画「飛べ！フェニックス」から「フ・エ・ニ・ッ・ク・ス・愛・の・テ・マ」

(66年製作・アメリカ映画、監督 ロバート・アルドリッチ。作詞・作曲 ジーノ・パオリとアレックス・ワイルダーの共作。演奏 ブラス・リング、音楽

フランク・デ・ヴォール)

大型飛行機から小型飛行機を作るというストーリーの映画で、音楽もその雰囲気が出ています。04年製作のアメリカ映画「フライト・オブ・フェニックス」(監督ジョン・ムーア、出演 デニス・クエイド、ジョバンニ・リビシほか。音楽 マルコ・ベルトラミ)は、66年製作(「飛べ!フェニックス」)のリメイク(再映画化)です。

※映画「リオの嵐」から「メ・イン・テ・マ」

(66年製作・フランス映画、監督 アンドレ・ユヌベル、出演 フレデリック・スタフォード、ミレーヌ・ドモンジョほか。音楽 ミシエル・マーニユ。サウンドトラック)

イギリスのスパイ映画007シリーズに対抗するフランスのスパイ映画OSSシリーズの一編。

12年の五輪はイギリスのロンドンで行われましたが、次回16年はブラジルのリオ

デジャネイロで開催です。

※映画「雨の朝パリに死す」から主題曲

(54年製作・アメリカ映画、監督 リチャード・ブルックス、出演 エリザベス・テイラー、ヴァン・ジョンソンほか。音楽 コンラッド・サリンジャー。主題歌は、オスカー・ハマースタイン二世が作詞、ジェローム・カーンが作曲、演奏 フランク・プウルセルグランドオーケストラ)

昔の曲もアレンジにより現代風に変わります。

※「星空のブルース」「夢のブルース」

(演奏 ベルト・ケムプフェルト楽団、トランペット チャーリー・タボール)
目を閉じて聴くと星空が見えるようです。

※映画「ティファニーで朝食を」から「ティファニーで朝食を」

(61年製作・アメリカ映画、監督 ブレイク・エドワーズ、出演 オードリー・ヘプバーン、ジョージ・ペパードほか。音楽 ヘンリーマンシーニ。オリジナルサウンドトラック)

ぼくのDJ時代「統一テーマミュージック」となった曲です。

(続)

(文中敬称略)

伸

平成24年9月

追記 今回、ぼくの好きなテーマ曲というテーマでしたが、映画「ティファニーで朝食を」の主題歌「ムーン・リバー」をテーマ曲にしていたアメリカのポップミュージシャンアンディ・ウイリアムズさん(84歳)が9月25日亡くなりました。晩年、膀胱がんを患っていました。

もう、あの甘い透き通った歌声が生舞台公演で聴けないのは、ファンの一人として、とても残念です。ご冥福を祈ります。